

楽しい食事

令和6年 12月

香取都市学校栄養士会

家庭版

NO. 134



じばさんぶつ 地場産物について知ろう！

地場産物とは、自分たちが住んでいる地域でとれる食べ物のことをいい。給食では、できるだけ地場産物を使用しています。そして、千葉県は多くの農産物を生産している全国でも有数な農業が盛んな県です。では、どんな農産物があるか知っていますか？たくさんのかなー部を紹介します。

※出典：農林水産省 令和4年 農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)

①米



千葉県の米の産出額は全国8位で、主な品種は「コシヒカリ」です。また、令和2年に千葉県産米の「粒すけ」が誕生しました。また、千葉県のお米は皇室の献上米に選ばれたこともあります。

②さつま芋



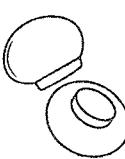
千葉県のさつま芋産出額は、茨城県について全国2位です。さつま芋は、温暖な気候で水はけが良い土壌を好みます。そして、千葉県にある関東ローム層という火山灰土壤は、水はけがよいため、さつま芋の栽培に適しています。

③かぶ



かぶは種類が豊富で、関西を中心に生産されている大きな「聖護院かぶ」と全国で生産されている「小かぶ」があります。そして、千葉県でもほぼ通年で育てられるようになった小かぶの生産が盛んで、全国1位の産出額です。

④マッシュルーム



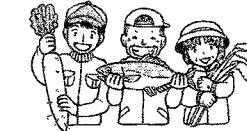
千葉県は、マッシュルーム産出額全国1位です。主な生産地は、わたしたちの住んでいる北緯地域です。また、マッシュルームには優しい香りでサラダとして生でも食べられるホワイト種、香り高く深い味わいのブラウン種があります。

じばさんぶつた ちさんちしょう 地場産物を食べて地産地消！

●●●地産地消とは●●●

地産地消とは、**地域で生産されたものを、地域で消費すること**をいいます。

☆地産地消のよいところ！

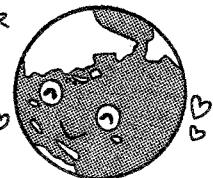


・美味しくて安心

地元で作られた農産物は、すぐに消費者のもとへ届けられます。生産者との距離も近いため、新鮮で美味しい、安心して食べることができます。

・環境への負担が軽減

外国産の農産物を輸入しようとすると、船や飛行機で海を渡り、消費者の近くまではトラックを使います。そのため、時間と大量のエネルギーを使うことになります。しかし、地産地消で生産者と消費者との距離が短くなると輸送するための時間やエネルギーが少くなり、排出される二酸化炭素の量も減るため環境への負担が少なくなります。



・食品ロスを減らす

食品ロスとは、本当は食べられるのに捨ててしまっている食品のことです。捨ててしまう要因のひとつとして「食品の傷み」があり、輸送の途中で鮮度が落ちたりキズがついたりし、食べられなくなってしまうことも少なくありません。収穫したものを、地元ですぐ消費することで、美味しく新鮮な食品を食べることができます。食品ロスを減らすことにもつながります。



◎地場産物は直売所やスーパー・マーケットの地場産物コーナーなどにあります。ぜひチェックしてみてください!!